



2023年5月12日

各 位

会社名 ジェイ・エスコムホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大谷 利興  
コード 3779  
問合せ先 業務管理統括本部 部長 丸山 博之  
(電話 03-5114-0761)

### 連結業績及び個別業績の前期実績値との差異 並びに営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）において本日公表の連結及び個別の実績値と前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また2023年3月期において下記の通り営業外収益を計上することとなりましたので合わせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期連結業績と前期実績値との差異について（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期連結実績（A）	937	11	15	4	0.40
当期連結実績（B）	1,617	△63	△28	41	3.83
増減額（B－A）	679	△75	△44	37	
増減率（％）	72.5	－	－	889.5	

#### （差異の理由）

連結業績におきまして、Mafin inc. 及びその子会社の株式の取得に伴うデジタルマーケティング事業の開始による売上高の増加と当該株式取得による負ののれん益の計上に伴い親会社株主に帰属する当期純利益が前期実績値を上回っております。しかし、営業活動については、理美容事業の一部門である韓国コスメ商材の提供先である韓国メーカーの日本市場進出により当該商品取扱いの停止、為替の動向、また、それ以外の日本のメーカーからの商材の仕入れについても原材料の価格上昇と欠品による販売機会の喪失等の理由で利益減少となりました。通信販売事業においては、昨今のインフレ、同業界への新規参入による競争の激化、デジタルマーケティング事業においては、営業活動は始動しているものの、本格的に事業運営をするための体制構築中ということもあり、営業利益及び経常利益は前期実績値を下回っております。詳細に関しましては、本日公表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

2. 2023年3月期個別業績と前期実績値との差異について（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期個別実績（A）	81	△3	△3	△4	△0.43
当期個別実績（B）	85	△7	△7	△18	△1.74
増減額（B－A）	4	△3	△4	△14	
増減率（％）	4.9	－	－	－	

（差異の理由）

個別業績におきまして、子会社の取得に伴う株式価値算定等の各種費用の計上及び第三者割当増資に伴う各種費用の計上により、前年実績値と比較して営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が下回っております。

3. 営業外収益の計上

当社は、2023年3月期の連結決算におきまして子会社であるSmartcon inc. が申告により還付を受けた付加価値税更正請求還付金24,988千円を還付加算金として計上いたしました。

以 上